

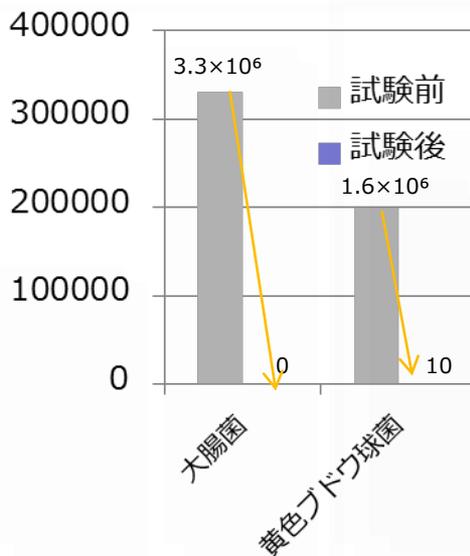
# 抗菌データ

試験機関 財団法人日本食品分析センター  
 試験方法 光照射フィルム密着法  
 対照 ポリエチレンフィルム  
 照射条件 約1000~2000 L x 24H

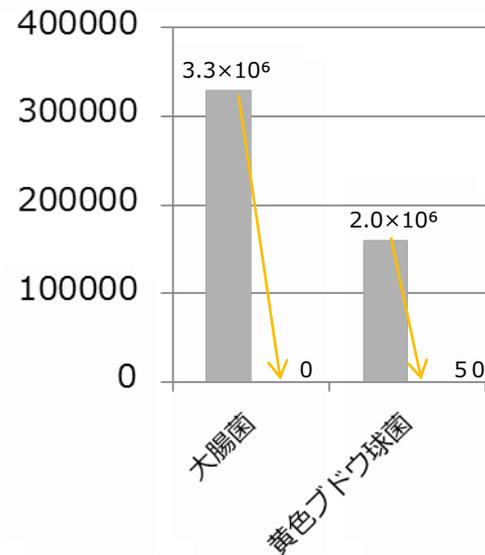
## 試験結果

遮光時でも、99%除菌している事が確認できます。

光 照 射



遮 光



試験機関 財団法人 日本紡績検査協会 近畿事業所  
 試験試料 CSC製品  
 試験項目 抗菌性試験  
 試験菌 黄色ブドウ球菌  
 試験方法 J I S L 1902 定量試験 (菌液吸収法) に準ずる。

植菌数	【 A 】	$1.8 \times 10^4$	log A 4.3
無加工ナイロン布菌数	【 B 】	$9.8 \times 10^4$	log B 7.0
無加工綿布菌数	【 B' 】	$1.1 \times 10^4$	log B' 6.0

## 試験結果

ドライクリーニングを3回施しても抗菌性は落ちていないことが確認できます。

試 料	菌数 log C	静菌活性値
ムートン (CSCコート) ドライクリーニング 0回	1.3	5.7
ムートン (CSCコート) ドライクリーニング 3回	1.3	5.7

# 抗ウイルスデータ

試験機関 財団法人日本食品分析センター  
検体 1) 針状銀系酸化チタン (CSC・AG+T使用)  
2) 球体銀系酸化チタン  
使用ウイルス インフルエンザウイルスA型 (H1N1)  
使用細胞 MDCK細胞 ATCC CCL-34株 (大日本製薬株式会社) 犬の正常腎細胞  
試験結果 -表示はウイルスの不活性化を表します。  
検体1) CSC・AG+T使用原料 検体2) 不使用原料

濃度 (W/V%)	検体1)	検体2)
2	-	-
1	-	+
0.5	-	+
0.25	+	+

\* **コロナウイルスでのデータはございません**が、経済産業省が消毒方法の有効性評価において、製品評価技術基盤機構が、代替使用が可能なウイルスとして、**インフルエンザウイルスA型H1N1を選定**しております。

# 消臭データ

検査機関 西日本環境リサーチ株式会社

- 試験条件
- ① 10 Lテドラーバッグの内側にCSC3.75 g 塗布
  - ② 臭気物質を含んだガス12 Lを10 Lテドラーバッグに注入
  - ③ マグネチックスターラーでテドラーバッグ内のガスを対流
  - ④ 照射条件：室内条件（窓際に置き蛍光灯を点灯）
  - ⑤ 検知管（ガステック社製）で臭気物質を測定

